

2025 北海道エンデューロ選手権シリーズ 特別競技規則

2025.2.1

MFJ 北海道地区エンデューロ部会

1. 総論

- 北海道エンデューロ選手権シリーズは(以下北海道 ED)は、モーターサイクル(以下車両)の信頼性及び規定された条件に基づいた総走行距離又は総走行時間を走行する事によって選手の技量を測ることを目的として開催される。

2. エントリー・開催クラス

1) エントリー

- 各大会に参加を希望する選手は、大会特別規則(SR)に従い期日までに申し込み手続きを完了し、別途定められる出場料金を支払わなければならない。必要事項の全てが正しく記載され、署名捺印がされた出場申込書及び出場料金を大会事務局が受理した時点で参加受理が行なわれたものとする。(WEB エントリーを含む)
- 主催者は、理由を明らかにすることなく参加申込みを拒否し、また無効とする事ができる。
- 払い込まれた出場料金は、不可抗力により大会が開催されなかった場合を除き返還されない。開始前に大会が中止された場合は、事務手数料を差し引いた金額が返還される、又申請者は、大会中止に伴って発生した損害について主催者に対して損害賠償請求をすることができない。
- エントリー締め切り後の車両変更、クラス変更の申し出は、その理由を明示し書面にて行なわなければならない。
- 申込み後の選手の変更は認められない。
- 満 18 歳未満の選手が申し込みをする場合は、親権者の承諾を必要とする。

2) 開催クラス・出場資格

①IA クラス	当該年度有効なエンデューロ国際 A 級ライセンス所持者
②IB クラス	当該年度有効なエンデューロ国際 B 級ライセンス所持者
③NA クラス	当該年度有効なエンデューロ国内 A 級ライセンス所持者
③NB クラス	当該年度有効なエンデューロ国内 B 級ライセンス所持者
④B クラス（中級クラス）	※下記承認クラス出場資格
⑤C クラス（初級クラス）	
⑥FB クラス（ファンバイク） 車両および区分は下記参照	
※承認クラス出場資格 当該年度有効な MFJ 競技ライセンス（種目問わず）、ピットクルーライセンス（運転免許証を持っていることを条件とするタイプ A）、エンジョイ会員証、スポーツ安全保険加入を選択した競技役員ライセンス所持者	

- **FB クラス (ファンバイク) について**
4 ストローク 125cc 以下で後輪 16 インチ以下の車両が対象
(TTR125、CRF125F、KLX125、DR-Z125、XR100R、KLX110、CRF100F など)
原則として承認 B.C クラスと混走とします。 *表彰は別
<クラス区分>
 - ・ **FB エキスパート** : NB 以上の経験者+レース経験者、入賞経験者など
 - ・ **FB インジョイ(ビギナー)** : レース初心者、オフロード初心者など
クラス選択は自己申告とする。
過去の実績などから判断し、主催者からクラスの変更をお願いする場合がある。
- **電動車両は B または C クラスでの参加とする。**

3. 2025 年度北海道 ED の昇格規定

- NB クラス ⇒ NA クラスの昇格基準
北海道 ED NB クラスランキング **1～5 位**までの選手は NA クラスに**自動昇格**する。
※同点者のある場合は上記人数を超えることができる。
- NA クラス ⇒ IB クラスの昇格基準
北海道 ED NA クラスランキング **1～3 位**までの選手は IB クラスに**申請昇格**できる権利が与えられる。
※同点者のある場合は上記人数を超えることができる。
- IB クラス ⇒ IA クラスの昇格基準
北海道 ED シリーズ**チャンピオン**で、かつ当該年度の**全日本選手権 IB クラスでポイントを獲得した者**は IA クラスに**申請昇格**できる権利が与えられる。

4. ゼッケン

1) ゼッケンナンバー

- IA クラス：2025MFJ 全日本エンデューロ選手権指定ゼッケンとする。
- IB・NA・NB クラスの規定
 - * 2025 年 1 月 xx 日に発表されている MFJ 全日本エンデューロ指定ゼッケン
(全日本選手権 2024 年ポイントランカー及び昇格者) が割り当てられている選手は全日本選手権と共通ナンバーが使用できる。(IB：100～xxx ・ NA300～xxx ・ NB400～xxx)
 - * それ以外のライダーは 2024 年北海道 ED のランキング順に全日本指定ゼッケン以降に割り当てる。
(IB：150～、NA：360～、NB：450～) 全日本選手権に出場する際は別のゼッケンナンバーとなる。
 - * 全日本選手権にエントリーし割り当てられた番号が、その時点で他のライダーと重複していない場合はそのナンバーを使用することができる場合がある。
(全日本ゼッケンを北海道 ED で使用したい場合は **MFJ 広域事務局**
メール：mfj.kouiki.northarea@gmail.com TEL：070-1461-5640 へ相談願います)
- B クラス（中級クラス）：前年度年間ランキング 1 位を **600** としてランキング順にゼッケンナンバーを指定する。
(例 1 位→600 2 位→601……)
- C クラス（初級クラス）：前年度年間ランキング 1 位を **700** としてランキング順にゼッケンナンバーを指定する。
(例 1 位→700 2 位→701……)
- FB クラス（**エキスパート**）：エントリー受付順に先頭を **900** としてゼッケンナンバーを指定する。
(例 900, 901……)
- FB クラス（**インジョイ**）：エントリー受付順に先頭を **950** としてゼッケンナンバーを指定する。
(例 950, 951……)

※各クラス指定ゼッケンを持たない者はエントリー受付順にナンバーを指定する。

※女性参加者はゼッケンナンバーの左上側に「W」の文字を記入する。

- 2025 年北海道エンデューロ選手権の年間希望ゼッケンを受付ける。
 - ・ナンバー使用料は 10,000 円（税込）／年間
 - ・MFJ 指定各クラスナンバー範囲内の空き番号に限る。例) NB=450～599 内の空き番号
 - ・ナンバーの範囲は年度ごとに変更される場合がある。
 - ・希望ゼッケンは北海道エンデューロ選手権でのみ有効。全日本選手権は別の番号が指定される。
 - ・ゼッケン代金の入金を確認次第ナンバー確定とし、代金未払いのナンバーは大会で使用できない。
- ※年間希望ゼッケン申込・問い合わせ

MFJ 広域事務局 メール：mfj.kouiki.northarea@gmail.com TEL：070-1461-5640

2)ゼッケンカラー

IA クラス	赤地に白文字
IB クラス	紺地に白文字
NA クラス	黄色地に黒文字
NB クラス	白地に黒文字
B クラス	黄色地に黒文字
C クラス	白地に黒文字
FB クラス	白地に黒文字

5. 競技会

1)受付

- 受付は、大会特別規則(SR)または公式通知に従って指定された時間内に選手本人が行なわなければならない、その際当該年度有効な MFJ ライセンス証、その他大会特別規則書または公式通知で指定されている書類を提示しなければならない。
- MFJ ライセンス証の提示がない場合は基本的に出場を認めない。
- エントラントは、健康保険証の持参を推奨する。
- **大会当日の出場受付時、メディカルパスポートを持参していることを確認する。**

2)ライダーズミーティング

- 選手は、必ずライダーズミーティングに出席しなければならない。欠席した場合は、出場を認められない場合がある。
- **感染症の拡大状況等により書面配布方式または掲示が採用される場合がある。**

3)車両検査

- MFJ 国内競技規則に定められる技術規則の規定に基づきスタート前に車両検査(以下車検)が行なわれる。
- 車検は、選手本人の立会のもと主催者が指定した車検場にて行なわれる。
- 選手は、車検の際、申し込み時に記載された車両を提示しなければならない。車両の変更は MFJ 国内競技規則に基づいて行なわなければならない。
- 選手は、競技中のいかなる時も、車両が規則に準拠していることに関して責任をもたなければならない。
- 競技監督及び審査委員会は、競技中危険と判断された車両を停止または失格とすることができる。
- 車検時に提示された車両が競技監督及び審査委員会によって危険と判断された場合、その車両を当該競技に使用することはできない。

4)音量測定

- 車検時、別技術規則の規定に基づき排気音量の測定を行なう場合がある
- 排気音量の測定で不合格だった選手は、車検時間時であれば何度でも測定を受けることができるが、車検時間内に合しない場合は出場を認められない。
- 規定音量は 2mMAX 方式で 114 dB/A 以下とする。(測定の詳細は MFJ 国内競技規則 [インデューロ 付則 24 インデューロ技術規則 23 音量規制](#) 参照)
レース後の最終検査においては、+ 1dB/A の許容誤差が認められる。
または別に定める大会特別規則(SR)に示される。
- 車検長及び競技監督は、競技中著しく音量が大きい車両を停止させ音量を測定することができる。また選手に対して修理を要求することができる。指摘を受けた選手は、サイレンサーの修理完了後、車検長及び競技監督の確認のもと競技へ復帰することができる。この作業に要した時間は選手の責任とする。

5)コース

- 競技に使用されるコースは、いかなる天候においても参加車両が走行できるものでなければならない。
- 競技監督は、安全上の理由や不可抗力による事由（天災等）によってコースの走行が困難と判断された場合、審査委員会の承認に基づき、選手間の公平を確保した上でコースを変更することができる。同様に指定走行時間や指定周回数を変更することができる。

6)競技方法

- 競技は、指定された時間を走行する「時間方式」、または指定された周回を走行する「周回方式」のどちらか、または両方、あるいはテスト（競技区間）とルート（移動区間）で構成された「オンタイム方式」で開催される場合がある。競技方法の詳細は、大会特別規則書(SR)または公式通知によって掲示される。
- 時間方式の場合は、指定された時間内により多くの周回を行なった選手を優位とし、同周回数の場合は、フィニッシュ時刻の早い選手を優位とする。
- スタートは、時間方式の場合は一斉スタート(クラス別の場合もある)、周回方式の場合は1台または数台ずつの時間差スタートとする。詳細は大会特別規則書(SR)または公式通知によって掲示される。
- スタートの合図は日章旗によって行なわれる。また、ゴールの合図はチェッカー旗によって行なわれる。
- 時間方式の場合、ゴールの合図は規定の時間が経過した時点で出される。

7)競技中の注意事項

- 競技中、コースの逆走は禁止される。コースを逆走した選手は失格とする。ただし、急な上り坂等の限定された区間においてのみ十分に安全に配慮することを条件にコースの逆走が認められる。競技役員の指示がある場合は、それに従わなければならない。
- 選手は、コース上で停止する場合、直ちに車両をコースサイドに移動して他の選手の走行の妨げにならないようにしなければならない。
- リタイヤ及び走行を中止した選手は、速やかにその旨を主催者に届け出なければならない。
- 選手は MFJ 行動規範、各規則、大会特別規則書(SR)、公式通知に示された規定及び競技役員の指示に従わなければならない。違反した場合は最大失格のペナルティーを与える。

8)完走・競技成立

- 時間方式の場合は、指定走行時間経過後にフィニッシュラインを通過しなくても、スタート後1周以上の周回をすれば最後にフィニッシュラインを通過した時点の走行時間を正式リザルトとして完走扱いとする。同様に周回方式の場合も、規定周回数を周回しなくても、スタート後1周以上の周回をすれば、最後にフィニッシュラインを通過した時点の走行時間を正式リザルトとして完走扱いとする。
- スタート後1周も周回できなかった選手は未完走となり、ポイントは与えられない。
- 競技は、時間方式の場合は予定競技時間の50%経過時点、周回方式の場合は予定周回数の50%経過時点で成立とする。
- 安全上の理由や不可抗力による事由(天災等)によって競技を中止した場合は、競技再開の判断は大会審査委員会が行う。

9)賞典

- 賞典は大会特別規則(SR)に示される。
- 主催者は正式リザルト発表後速やかに表彰式を行なわなければならない。選手は、特別な事情がありそれを主催者が認めない限り表彰式に参加しなければならない。
- ~~最終戦表彰式においてはシリーズランキング上位入賞者の表彰を合わせて行なう。~~
- 2025 シーズン最終戦は全日本併催大会となるため、上位入賞者には後日、記念メダルまたは認定証を贈呈する。

10)補給

- 主催者によって明確な「給油エリア」が指定される。競技中の燃料等の油脂類の補給は指定された給油エリアで行なければならない。競技中に給油エリア以外で燃料等の油脂類を補給した場合は、当該選手を失格とする。
- 燃料は、一般に入手できる無鉛ガソリンを使用しなければならない。使用燃料に違反があった場合は、当該選手を失格とする。
- 燃料の保管容器は消防法の規定に適合する金属製のものでなければならない。
※給油エリアにおける給油の際はこの限りでない
- 環境を保護するため、補給は環境保護マットの上で行なうことを推奨する。保護環境マットは油脂類を吸収する素材で、ハンドル幅×ホイールベースより大きいサイズとする。
- 燃料補給中はエンジンを停止しなければならない。燃料補給中エンジンを停止しなかった場合は当該選手を失格とする。
- 給油エリアの走行は徐行とし、周囲の安全に十分に留意すること。給油エリアで危険な行為があった場合は当該選手に失格を含むペナルティーを与える。
- 給油エリアでの喫煙は禁止する。喫煙した場合は失格とする。ピットクルーが喫煙した場合は、当該ピットクルーを給油エリアから排除し、当該ピットクルーが援助する選手を失格とする。
- 給油エリア内で対応できないトラブルが発生した場合は、競技役員の了解を得た上でパドックに戻り修理作業をすることが認められる。
- 給油エリアおよびパドックには、消火器の用意を推奨する。

11)援助

- 給油エリアにおいて援助を受けることができる。給油エリア内に入場できるのは大会当日受付でピットクルーの登録をし、クレデンシャル（ビブス、リストバンド等）を貸与された者に限る。ピットクルーは、MFJ ピットクルーライセンスの取得を推奨する。ピットクルーは給油エリアへの入場のみが認められ、コース内への立ち入りは禁止される。
- ピットクルーは、MFJ 行動規範、各規則、大会特別規則書(SR)、公式通知及び競技役員の指示に従わなければならない。この規定に違反した場合は、当該ピットクルーが援助する選手に最大失格のペナルティーを与える。
- 出場ライダーが補給場所以外で工具類・パーツ等を受け取る行為はすべて禁止とする。
- 出場ライダーによる他ライダーの援助は不問とする。ただしガソリンの補給は禁止とする。
- 飲料、ゴーグル、グローブ等、安全に走行するために必要な物資を受け取ることは可能。
- 承認クラスにおいては原則として外部からの援助を制限しない。

12)フラッグサイン

- 選手は、競技中にフラッグサインを確認し、そのフラッグサインに従わなければならない。
- 公式フラッグサインは以下のとおりとする。

・日章旗	スタート合図
・緑旗(振動)	エンジン始動
・赤旗	レースが停止された ライダーはスタート地点に戻る
・黄旗(静止)	危険予告 減速
・黄旗(振動)	危険予告 徐行 停止準備 安全確認 追い越し禁止
・白旗またはレッドクロス旗	コース上で救護活動あり コース上へ救護車両の進入あり
・黒旗	
+ 黒地に白文字ボード	示されたゼッケン番号の選手はピットイン
・青旗(振動)	警告 後方より追い越し車あり
・チェッカー旗	レース終了

13)再車検

- 競技終了後 30 分以内に、競技を終了した 1 台もしくは数台車両に対してエンジンの検査を行なう場合がある。
- 改造による排気量の拡大が発覚した場合、該当選手を失格とする。
- 競技中にサイレンサーを交換する選手は、競技終了後に再度音量測定を受けなければならない。その際、音量が規定に合格しない場合は失格とする。

6. リザルト・抗議

1)リザルト

- 主催者は、競技終了後速やかに暫定リザルトを発表しなければならない。リザルトの発表は、遅くとも最終選手のフィニッシュ後 2 時間以内とする。

2)抗議

- 選手は主催者に対して競技内容や暫定リザルトについて内容の説明を求めることができる。
- 説明の要求は書面で行うものとする。
- 選手は、選手、車両、競技内容及びリザルトに関して抗議を行なうことができる。選手または車両に関する抗議は、当該選手のフィニッシュ後 30 分以内、または競技内容及びリザルトに関する抗議は、暫定リザルト発表から 30 分以内に 1 項目ごとに抗議保証料 **33,000 円（税込）** を添えて書面にて行うものとする。抗議が認められた場合にのみ抗議保証料は返還される。
- 抗議は、審査委員会において裁定される。審査委員会の裁定は最終結果でありいかなる抗議も認められない。
- 上記の他、抗議に関して MFJ 国内競技規則第 4 章 MFJ 裁定規定「37」競技会における大会審査委員会への抗議およびエンデューロ競技規則「39」抗議の規定に基づいて裁定される。

7. 2025 年北海道 ED シリーズランキング

1)ポイント集計

- **IB・NA・NB クラス**は全日本選手権併催を含め、**5 大会 6 ラウンド中上位 4 ラウンドを集計**する有効ポイント制とする。
- **IA クラス**についても全日本選手権北海道大会を含む **6 ラウンド中上位 4 ラウンドを集計**する。
- **B・C・FB クラス**は全日本選手権併催大会を含まない **4 大会 4 ラウンドを集計**する。
- **中止により大会数が減った場合、有効ポイントのラウンド数を変更する場合がある。**
- 各クラスの競技成立台数は 2 台以上とする。
- 完走者にのみポイントが与えられる。（完走者は 5. 8）に定義される）
- ポイントスケールは下記のとおりとする。

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
得点	25	22	20	18	16	15	14	13	12	11
順位	11 位	12 位	13 位	14 位	15 位	16 位	17 位	18 位	19 位	20 位
得点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

2)ランキング決定基準

- ①集計ポイントが同ポイントの場合は、上位入賞回数の多い選手を優位とする。
- ②さらに同点の場合は最終戦結果上位のものを上位とする。
- ③上記②で決定できない場合は最終戦に近い同一大会成績結果上位のものを上位とする。
- ④上記③で決定できない場合は、前年度のランキング順とする
- ⑤上記④で決定できない場合は北海道地区エンデューロ部会において最終決定する

8. ライダーの装備

- プロテクター（プレストガード・ネックブレイス等）の着用を推奨する。
- 口唇/口腔の負傷や顎の骨折、脳震盪の軽減を目的に、カスタムメイドマウスガードの装着を推奨する。
マウスガードの色は、口腔内の出血を見分けやすくするために明るい色が望ましい。
- ゴーグル
 - ・レンズ部分にプラスチック以外の素材を使用することは禁止される。
 - ・枠は柔軟な素材を使用したもので、転倒による衝撃を受けた場合でも危険でないものでなくてはならない。
- ヘルメット
 - ・MFJ 公認マークについて
MFJ 公認マークのないヘルメット（海外メーカー等で正規代理店を経由しないものを含む）は MFJ 競技会では使用できない。
特例として公認マークが「剥がれて」しまった場合のみ、公認モデルであることを前提に誓約書を提出して 1 大会のみ出場が認められる場合がある。この場合次の大会までに製造メーカーまたは正規輸入代理店にライダーが直接連絡しマークを入手、貼付すれば次戦以降使用可能となる。
大会当日に特別検査料を徴収し公認シールを貼付するサービスは行わない。

9. メディカル関連

- 緊急搬送時対応施策として大会参加者は各自「メディカルパスポート」を所持しなければならない。
競技期間において万が一負傷し外部医療機関へ緊急搬送された場合、搬送先の医療機関にてライダーの個人データの提出が求められる場合があるため、ライダーはあらかじめ必要事項を記入した「メディカルパスポート」を携帯し、医療機関で求められた際、提出することにより円滑な治療、判断に役立たせるもの。
なおメディカルパスポートの記載内容は個人情報であるため、ライダー本人、保護者またはチームでの保管・管理とする。
大会当日の出場受付時、メディカルパスポートを持参していることを確認する。
MFJ メディカルパスポートは以下よりダウンロードできる。
<https://www.mfj.or.jp/licence/downloads/medical-passport-document/>
- 大会期間中に脳震盪と判断された場合は当該大会の以降の走行を禁止する。
次大会は完治の診断書を提出しなければ出場できない。

10. 肖像権

- 主催者は、選手及び選手に同行する関係者全ての氏名・写真等を大会広報のために、テレビ・ラジオ・インターネット及び印刷媒体等で使用する権利を有する、また主催者が認めた報道機関が報道を目的にしてこれらを使用することを認める権利を有する。

11. 本規則の施行

- 本規則は、2025 年度の競技会開始時点より有効とし、本規則に示されていない事項は、2025MFJ 国内競技規則による。

以上